

イベントピックアップ まちの出来事



▲播磨農高の生徒の解説のもと、どんな花が咲いているのかなど、観察ノートに熱心にスケッチする児童達。

希少植物「ミズトラノオ」で環境学習

玉丘町の長倉池で10月3日、播磨農業高校サイエンス部6人と富合小学校3年生33人が、絶滅危惧種ミズトラノオの観察会を開きスケッチなどを行いました。長倉池はミズトラノオが確認できる数少ない自生地で、この水生植物を保護しようと、昨年からサイエンス部と同小学校の児童たちが連携して、人工増殖などの研究に取り組んでいます。その取り組みが評価され8月には第18回コカ・コーラ環境教育賞次世代支援部門優秀賞を受賞しました。

まちなかで多彩なイベント「北条の宿はくらんかい」

江戸時代に宿場町として栄えた北条町北条地区一帯で10月15・16日、「北条の宿はくらんかい」が開催されました。今年で4回目を迎える同イベントは、かつてのにぎわいを取り戻そうと、地域住民が主体となり企画・運営。まち中にある寺や神社で芸能などが披露され、空き家、空き店舗を利用してカフェやギャラリーがオープンしました。2日間で市内外から約1万8千人が訪れ、まち中が賑わいました。



▲歴史的な町家が残る通りを散策する参加者。



▲収穫されたサツマイモは「おいもパーティー」などに使われました。

九会幼稚園のサツマイモ掘り

九会幼稚園前の「にこにこ畑」で10月4日、園児42人とその祖父母30人が一緒にサツマイモの収穫を楽しみました。同園は、祖父母からいろいろなことを教わり栽培を通して収穫の喜びを味わおうと毎年開催。園児達が6月につるをさし、地域の方がボランティアで草刈りなどの管理を行ってきました。待ちに待った収穫のこの日、園児らはスコップで土を掘り返し、サツマイモが現れると大きな歓声を上げました。



▲迫力ある大きな作品も展示。

市内画家達の力作展示「加西市美術家協会展」

アステシアかさい3階の地域交流センターで10月11日から16日にかけて、加西市美術家協会展が開催されました。会場には、同協会(山本喜容子会長)の会員50人が日本画、洋画、書道、彫塑、写真、工芸の6部門にわたる多彩な作品約70点を展示。日展などで活躍する画家の作品も展示されました。来場者は、お気に入りの作品の前で立ち止まり、熱心に観賞していました。



▲市役所周辺の道路を清掃する生徒達。

北条高校生が地域貢献クリーンキャンペーン

北条高校1・2年生388人が10月21日、加西病院やフラワーセンターなど市内20か所で、ゴミ拾いなどの清掃活動を行いました。同校では、奉仕活動で地域に貢献しようと毎年実施しており、市役所周辺では約60人が竹箒で落ち葉を集め道路などを清掃。生徒達は、通りすがりの方とも挨拶を交わすなど、礼儀正しく協力しながら活動に取り組みました。

加西のゆるキャラ「ねっぴー」誕生

加西商工会議所青年部が、加西の魅力をPRするキャラクターを募集。応募総数146点の中から最優秀賞に「ねっぴー」と、優秀なデザインとして次の皆さんが選ばれました。

- 最優秀賞 村崎哲也 (三口町)
- 加西市長賞 中安香織 (東剣坂町)
- 兵庫みらい農業協同組合長賞 古川純子 (北条町栗田)
- 加西商工会議所会頭賞 小川孝子 (加古川市)
- 加西 YEG 賞 高見優里 (日吉小5年) 小林麻由菜 (九会小3年)



▲最優秀賞の村崎さん(左)と各受賞者の皆さん(10/16)。「ねっぴー」は今後、多方面での活躍が期待されます。



▲北条町駅に回収箱を設置する同実行委員長の石原正隆さん(朝妻町)。

社会貢献「ペットボトルのキャップを回収します」

2012年成人式実行委員会は、新成人全員で社会貢献に取り組みようと、ペットボトルのキャップ回収を始めました。ペットボトルのキャップは、800個で20円になり、1人分のポリオワクチンを購入することができ、貧困に苦しむ世界の子どもたちへの支援活動につなげます。実行委員会は、手作りの回収箱を、市役所(中央玄関)、小・中学校(一部)、北条町駅に設置。新成人をはじめ、地域の人々にも協力を呼びかけています。

田原保育園の手作り「かかし」17体

この秋、田原保育園横の田に、園児達17人が作った可愛い「かかし」17体が設置され、道行く人達を和ませました。同園の近くに住む橋爪貞章さん(田原町)が胴体などを作り、園児らが顔を描き、持ち寄った帽子や衣服などを着せて、一体ごとに違った作品に仕上げました。「かかし」が守った田では10月8日、園児と家族で稲刈りが行われ、みんなで収穫の秋に感謝しました。



▲自ら作った「かかし」と記念撮影する園児達。



▲沿道に咲き並ぶコスモス。

満開のコスモス畑。宇仁の里をウォーキング

宇仁小学校新グラウンドをメイン会場に10月23日、今年で4回目となる宇仁郷まちづくり協議会主催の「宇仁の里・花畑街道コスモスマつり」が開催されました。約500人の参加者は、地域をめぐる3つのコース(最長約8km)に分かれ散策、沿道に咲く満開のコスモスを楽しみながら心地よい汗をかきました。また、メイン会場では、宇仁の朝市も行なわれ、地元の新鮮野菜を買い求める客で賑わいました。

花によるまちづくり「鶉野中町花家族の会」

この度、鶉野中町花家族の会(尾花幸雄会長・会員28人)の活動が、農林水産省と国土交通省が提唱する「第21回全国花のまちづくりコンクール」で、全国1,415点の応募の中から「花のまちづくり入選」を受賞しました。同会は、住民同士の交流を深め、花で地域おこしをしようと平成19年に結成。自ら整備した沿道広場に花壇を設置した緑化活動や、地域に今も残る地下防空壕跡のギャラリー再利用などに取り組まれています。



▲同町内の沿道広場の花壇で作業をする会員の皆さん(10/8)。